



おかげさまでロックマンは
生誕20周年を迎えます。

(証券コード 9697)



© CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

第28期報告書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで



目次

- 会社の概要 1
- 株主の皆様へ 2
- 財務ハイライト 4
- 事業の概況 5
- 連結財務諸表 7
- 単独財務諸表 9
- 株式の状況 11
- 子会社の状況／役員の状況 12
- トピックス 13
- IR情報 14

会社の概要

(平成19年3月31日現在)

社名	株式会社 カプコン (CAPCOM CO., LTD.)
設立	昭和54年5月30日
主要な事業内容	家庭用テレビゲームソフトおよび業務用ゲーム機器等の企画、開発、製造、販売ならびにアミューズメント施設の運営
資本金	299億15百万円
従業員数	1,196名(連結 1,320名)
主要な事業所	本社 大阪市中央区内平野町三丁目1番3号 研究開発ビル 大阪市中央区内平野町三丁目2番8号 東京支店 東京都新宿区西新宿二丁目1番1号 上野事業所 三重県伊賀市治田3902番地
ホームページ	http://www.capcom.co.jp/

株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに当社グループ第28期(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、原油高や個人消費の伸び悩みなどがありましたものの、雇用・所得環境の改善や堅調な設備投資に支えられ、景気は回復基調を維持いたしました。

当業界におきましては、家庭用ゲーム市場は携帯型ゲーム機が中高年や女性等の初心者層の需要を掘り起こし、ユーザー層のすそ野を広げるなど市場活性化のけん引役を果たしたほか、新型ゲーム機が出揃ったことにより年末年始商戦が盛り上がり活況を呈するとともに、家庭用ゲーム機の盟主の座を巡って三つ巴の競争が繰り広げられてまいりました。

一方、オンラインゲーム市場はパソコンをはじめ家庭用ゲーム機や携帯電話などネットワーク機能を標準装備した端

末の普及により、着実に拡大してまいりました。

海外は北米市場において新型ゲーム機が好伸するなど拡大基調で展開し、総じて順調に推移いたしました。

また、アミューズメント施設市場は店舗の大型化が進みましたが、既存店がやや弱含みに展開いたしました。

こうした状況のもと、当社グループは国内外の多様な顧客嗜好に即応した開発展開や全国的な販促キャンペーンに加え、アミューズメント施設の積極的な出店を推し進めてまいりました。

加えて、重点戦略のひとつである海外展開の強化を図るため、世界最大の市場である北米において、顧客ニーズに適合したプロモーション活動や直販体制の拡充に注力したことが奏効し、海外での販売拡大が勢いづいてまいりました。

特筆すべき成果といたしましては、Xbox360向け「デッドライジング」および「ロスト プラネット」が欧米を中心に人気を博し、それぞれミリオンセラーを達成したことにより、新たなブランドタイトルが誕生いたしました。また、「モンスターハンターポータブル 2nd」(プレイステーション・ポータブル用)も発売を待望されたユーザーの期待に応え、国内出荷が100万本を超えるなど、市場動向に対応した開発展開とマーケティング戦略が相乗効果を生み出し、3作品のミリオンタイトルを輩出いたしました。

さらに、戦略的視点に立ってグループ全体の最適化を図るため、米国子会社を通じてモバイルゲーム開発会社カプコン・インタラクティブ・カナダ, INC.を完全子会社としたほか、ポータルサイトの運営会社である株式会社ダレットの設立やゲームソフトの開発子会社クローバースタジオ株式会社の解散を決定するなど、経営資源の選択と集中による事業ポートフォリオの組替えを行うとともに、関係会社と求心力を高めたグローバルな事業展開により業績の向上に取り



組んでまいりました。

この結果、売上高は745億42百万円(前期比6.1%増)となりました。

利益面につきましては、営業利益96億2百万円(前期比45.9%増)、経常利益106億円(前期比51.1%増)といずれも増益になりましたが、当期純利益は58億52百万円(前期比15.7%減)と減益になりました。

当期純利益が減少した主な理由は、前期は繰延税金資産に係る評価性引当金の見直しに伴う、法人税等調整額を計上したためであります。

なお、当期の期末配当につきましては、1株あたり15円とさせていただきます。これにより、中間配当を含めた当事業年度の年間配当は、1株につき30円となりました。

今後の見通しといたしましては、当業界はネット機能の標準装備やDVD再生機能など高機能、多機能の据置型新世代機が出揃ったことに加え、依然として勢いが衰えない携帯型ゲーム機が両々相俟ってハードの主導権争いは一段と激しくなるものと思われまます。また、ゲーム機の普及を左右するソフトメーカーの動向と相関して、ハードおよびソフトメーカー共に生き残りをかけて、シェア争いなどの企業間競争が激化するとともに、「勝ち組」と「負け組」の色分けが鮮明になり、勢力図が塗り替わることも予想されます。

業界を取り巻く環境が急激に変化する状況下、当社グループはグローバルな構造改革の推進や迅速な意思決定などにより組織全体に活力を与えとともに、経営環境の変化に影響を受けることなく安定した収益の確保ができるよう、企業体質を高めてまいります。

このため、世界の三大市場である日米欧の顧客ニーズ、ハードの普及動向に対応した開発、販売戦略や積極的な施設展開のほか、オンラインゲーム、モバイルゲームおよび

ポータルサイト運営などコンテンツビジネスの拡充により、事業全般にわたる顧客満足度のアップや競争力の優位性を確保するとともに、既存市場の深耕や新規市場の開拓に努め、業績の向上に全力を傾注してまいります。

また、コア・コンピタンス(中核的競争力)である開発戦略としては、優秀な人材の育成、確保による開発スタッフの充実強化に加え、新型ゲーム機の登場に伴う高騰化傾向にある開発費の抑制やマルチプラットフォーム展開を図るため、パソコンをベースとした効率的な開発手法を推進してまいります。さらに、ブランドタイトルなどを活用した映画、音楽、アニメ、玩具、携帯電話向けゲーム配信等のコンテンツのマルチユース戦略により収益展開を図ってまいります。

加えて、成長シナリオの実現に向けて海外展開を加速させるとともに、グループ会社間ネットワークの構築による情報の共有化や業務の効率化を進めるほか、財務構造の改革や各種の提携戦略の推進など、国内外の関係会社と連携を深めた事業戦略により全体のベクトルを合わせ、環境の変化に対応できるよう、経営基盤の強化に取り組んでまいります。

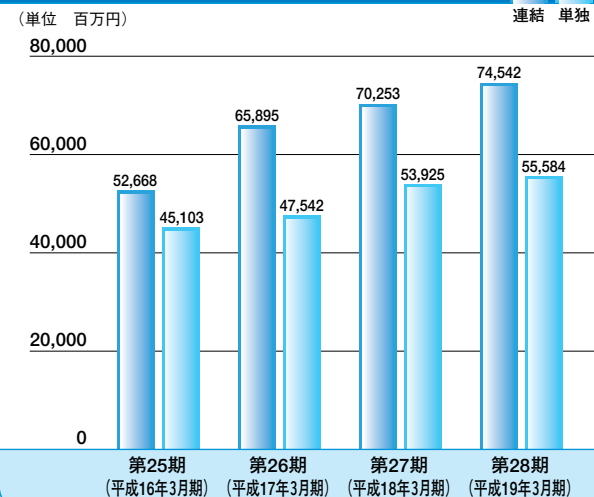
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月

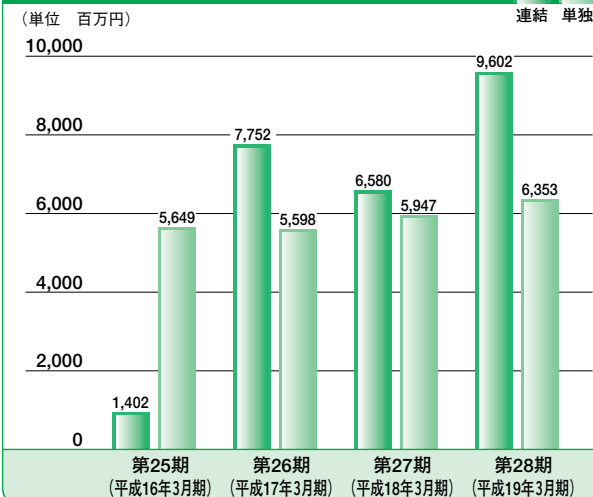
代表取締役社長 辻本憲三



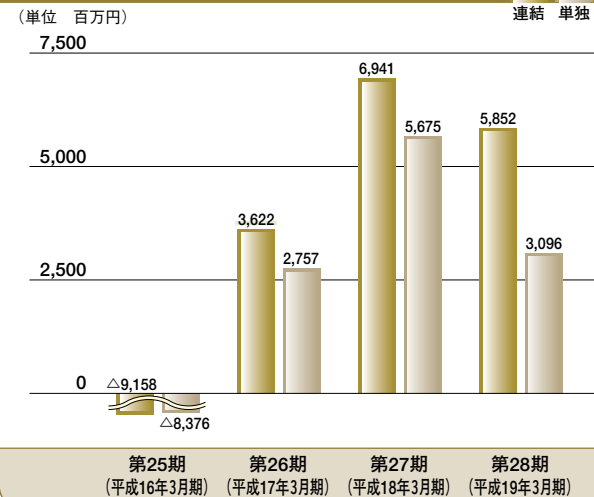
売上高



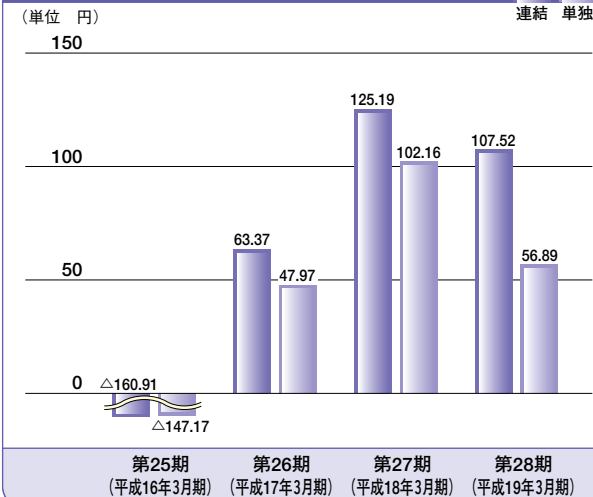
営業利益



当期純利益(△純損失)



1株当たり当期純利益(△純損失)





コンシューマ用ゲームソフト部門

海外ユーザーの嗜好性を反映させたXbox360向け新作ソフトの「デッドライジング」および「ロスト プラネット」がブレイクし、いずれも欧米を中心に100万本を超える大ヒットを放ち、海外での販売拡大に弾みがつくとともに、当該ソフトが両輪となって業績向上のけん引役を果たしました。また、ファンの要求を昇華させた「モンスターハンターポータブル 2nd」(プレイステーション・ポータブル用)も発売初日に長蛇の列ができるなど、好調な出足を示しミリオンセラーを達成したほか、新たな主力ソフトに仲間入りいたしました。

加えて、今年「ロックマン生誕20周年」を迎えるシリーズ最新作の「流星のロックマン」(ニンテンドーDS用)3バージョンが安定した人気に支えられ順調に販売を伸ばしたほか、女性ファンを獲得した「戦国BASARA2」(プレイステーション2用)や輸入タイトルの「グランド・セフト・オート・サンアンドレアス」(プレイステーション2用)も堅調に推移するとともに、新機軸ソフトの「大神」(プレイステーション2用)が健闘いたしました。

さらに、「バイオハザード4 PlayStation2 the Best」(プレイステーション2用)や「モンスターハンターポータブル PSP the Best」(プレイステーション・ポータブル用)などの廉価版ソフトも底堅い売行きを示しました。

この結果、売上高は438億13百万円(前期比2.6%増)(うち海外売上高235億48百万円)と増収になり、営業利益につきましても好採算ソフトの寄与や開発費の抑制などにより80億55百万円(前期比175.2%増)の大幅な増益となり、業績向上に大きく貢献いたしました。



「ロスト プラネット」
(Xbox360用)

極寒の星に隠された真実を解明していくアクションシューティングゲーム。主人公のモデルに韓国の個性派俳優のイ・ビョンホン氏を起用したことに加え、多人数で同時対戦が可能なオンライン機能がユーザーの人気を集め、発売から1ヵ月でミリオンセラーを達成した話題作。



「モンスターハンターポータブル 2nd」
(プレイステーション・ポータブル用)

プレイヤーがハンターとなり、大自然の中で迫力ある巨大なモンスターに立ち向かうハンティングアクションゲーム。複数ユーザーの通信プレイが無料で楽しめることも高く評価され、プレイステーション・ポータブル用ソフトとしては、国内で初めて出荷本数が100万本を突破いたしました。

アミューズメント施設部門

店舗の改装やファン感謝イベントの開催、サービスデーの実施など、顧客志向に立った地域密着型のハートフルな集客展開により安定したコアユーザーの獲得や女性、ファミリー層の取り込みによる客層の拡大に努めた結果、来場者は増加しましたが、客単価の落ち込みなどにより軟調に推移いたしました。

新規出店といたしましては、「地域一番店」を基本戦略に首都圏の千葉県に「プラサカプコン千葉ニュータウン店」、「プラサカプコン千葉長沼店」および「プラサカプコン千葉マリンピア専門店」の3店舗ならびに埼玉県に「プラサカプコン桶川店」をオープンしたほか、「プラサカプコン佐賀店」(佐賀県)、「プラサカプコン石巻店」(宮城県)を開店し、積極的なオペレーション展開を進め事業の拡大を図るとともに、低採算店 3店舗を閉鎖するなど、スクラップ・アンド・ビルドによる施設展開を行ってまいりました。

これにより、当施設は33店舗となっております。

この結果、売上高は130億43百万円(前期比12.8%増)と増収になりましたが、営業利益は出店費用の増大などにより20億9百万円(前期比17.6%減)と減益になりました。



「プラサカプコン石巻店」

宮城県初出店となる同店のデザインコンセプトは「リゾートホテルの高級感」。

クラシックな造りのヨーロッパの雰囲気や漂うエントランスやホテルのフロントをイメージしたインフォメーションカウンターで、お客様をお迎えします。プライズゲーム(景品獲得ゲーム)やメダルゲームに加え、お子様に大人気のカードゲーム機など最新機種も多数取り揃えています。

業務用機器部門

「機動戦士ガンダムSEED DESTINY 連合vs. Z.A.F.T. II」が根強い人気を反映して、販売拡大のリード役を果たしました。また、低年齢層市場の開拓を図るため、株式会社タカラトミーとのコラボレーションによる女兒をターゲットに投入した業務用カードゲーム機「ワンタメ ミュージックチャンネル」も堅調に推移いたしました。

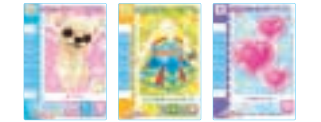
一方、メダルゲーム機「ドンキーコング バナナキングダム」も底堅い出荷を示しました。

この結果、売上高は80億60百万円(前期比15.2%増)となり、営業利益につきましても13億69百万円(前期比22.7%増)と増益になりました。



「ワンタメ ミュージックチャンネル」

お気に入りの犬(バビィ)に服やアクセサリなどのカードを組み合わせおしゃれさせ、音楽にあわせてボタン操作でダンスゲームにチャレンジしながら、CMクイーンを目指す女兒向けカードゲーム。季節ごとに追加されるおしゃれカードも人気を集めています。

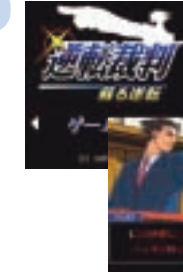


コンテンツエキスパンション部門

携帯電話向けゲーム配信事業において人気タイトル「逆転裁判」シリーズが堅調に推移するなど、安定した収益源になってまいりました。

また、遊技機向け周辺機器が順調に展開したことにより、売上向上に寄与いたしました。開発費の増加により収益を圧迫いたしました。

この結果、売上高は71億2百万円(前期比23.7%増)、営業利益16億24百万円(前期比31.2%減)となりました。



「逆転裁判」

(携帯電話向けゲーム配信)

ニンテンドーDSなどで大人気の法廷アドベンチャーゲーム「逆転裁判」シリーズが、携帯電話向けゲームで好評配信中! 携帯電話ならではのバイブレーション機能で臨場感もお楽しみいただけるほか、待受画像や着メロなどもダウンロードできます。

その他の部門

その他の部門につきましては、主なものはキャラクター関連のライセンス事業で、売上高は25億61百万円(前期比21.6%減)、営業損失4億39百万円(前期は1億97百万円の営業利益)となりました。



© CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

Character Wayne by © Lee Byung Hun / FANTOM CO., LTD.

© CAPCOM CO., LTD. 2006 ALL RIGHTS RESERVED.

© 2007 CAPCOM / TOMY



連結貸借対照表

(単位 百万円)

科目	期別	当連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)
【資産の部】			
流動資産		60,089	68,075
現金および預金		35,020	40,453
受取手形および売掛金		11,417	12,812
たな卸資産		3,488	3,741
ゲームソフト仕掛品		3,415	6,348
繰延税金資産		3,215	3,266
その他		5,075	2,749
貸倒引当金		△ 1,543	△ 1,295
固定資産		31,389	30,381
有形固定資産		15,500	13,820
建物および構築物		6,091	6,366
アミューズメント施設機器		3,022	2,064
建設仮勘定		287	73
その他		6,099	5,316
無形固定資産		2,277	333
投資その他の資産		13,611	16,227
投資有価証券		1,794	2,305
繰延税金資産		5,786	8,624
その他		6,635	6,010
貸倒引当金		△ 605	△ 712
資産合計		91,478	98,457

(単位 百万円)

科目	期別	当連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)
【負債の部】			
流動負債		19,747	26,942
支払手形および買掛金		7,489	7,213
短期借入金		755	700
1年以内償還予定の転換社債		—	10,000
賞与引当金		1,746	1,062
その他		9,755	7,966
固定負債		26,586	32,050
転換社債		15,000	15,000
新株予約権付社債		6,635	11,500
長期借入金		3,430	4,130
その他		1,521	1,420
負債合計		46,334	58,992
【資本の部】			
資本金		—	27,581
資本剰余金		—	15,336
利益剰余金		—	1,099
その他有価証券評価差額金		—	793
為替換算調整勘定		—	△ 228
自己株式		—	△ 5,117
資本合計		—	39,464
負債および資本合計		—	98,457
【純資産の部】			
株主資本		44,970	—
資本金		29,915	—
資本剰余金		17,637	—
利益剰余金		5,555	—
自己株式		△ 8,138	—
評価・換算差額等		157	—
その他有価証券評価差額金		482	—
その他		△ 325	—
少数株主持分		16	—
純資産合計		45,144	—
負債純資産合計		91,478	—

(注)平成18年5月に会社法が施行されたことに伴い、当連結会計年度は新様式で表記しております。

POINT 資産の部

流動資産は、第4回無担保転換社債の償還および自己株式の取得に伴い現金および預金が減少したことなどにより、前期に比べ79億86百万円減少し、600億89百万円となりました。固定資産は、米子子会社によるカナダのモバイルゲーム開発会社の全株式取得に伴う無形固定資産等の増加により、前期に比べ10億7百万円増加し、313億89百万円となりました。この結果、資産合計は前期に比べ69億78百万円(7.1%減)減少し、914億78百万円となりました。

POINT 負債の部

流動負債は、第4回無担保転換社債の償還などにより、前期に比べ71億94百万円減少し、197億47百万円となりました。固定負債は、ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の権利行使等により、前期に比べ54億63百万円減少し、265億86百万円となりました。この結果、負債合計は前期に比べ126億58百万円(21.5%減)減少し、463億34百万円となりました。

POINT 純資産の部

会社法施行に伴い、従来の「資本の部」は「純資産の部」に変更しております。当連結会計年度は、利益剰余金が増えたことに加え、ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の権利行使により資本金および資本剰余金が増加したことなどによって、前期に比べ56億79百万円(14.4%増)増加し、451億44百万円となりました。この結果、自己資本比率は9.2ポイント上昇し49.3%となっております。

連結損益計算書

(単位 百万円)

科目	期別	当連結会計年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高		74,542	70,253
売上原価		48,160	47,937
売上総利益		26,382	22,315
販売費および一般管理費		16,779	15,735
営業利益		9,602	6,580
営業外収益		1,405	1,089
受取利息および配当金		900	521
その他		505	568
営業外費用		407	653
支払利息		72	171
その他		335	482
経常利益		10,600	7,016
特別利益		104	116
特別損失		718	220
税金等調整前当期純利益		9,986	6,912
法人税、住民税および事業税		1,085	551
過年度法人税等		—	1,832
法人税等調整額		3,058	△ 2,413
少数株主損失		9	—
当期純利益		5,852	6,941

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科目	期別	当連結会計年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		16,063	13,921
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 6,715	△ 1,779
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 15,206	△ 18,259
現金および現金同等物に係る換算差額		203	1,232
現金および現金同等物の減少額		△ 5,654	△ 4,885
現金および現金同等物の期首残高		40,652	45,538
新規連結に伴う現金および現金同等物の増加額		22	—
現金および現金同等物の期末残高		35,020	40,652

POINT 売上高

コンシューマ用ゲームソフト部門(前期比2.6%増)やアミューズメント施設部門(前期比12.8%増)などが順調に売上を伸ばした結果、745億42百万(前期比6.1%増)となりました。

POINT 営業利益

増収効果により、96億2百万円(前期比45.9%増)と増益になりました。この結果、営業利益率は3.5ポイント上昇し12.9%となりました。

POINT 当期純利益

売上の増加により、営業利益および経常利益がいずれも増益となりましたものの、当期純利益は、58億52百万円(前期比15.7%減)と減益となりました。減少の主な要因は、前期は繰延税金資産に係る評価性引当金の見直しに伴う法人税等調整額を計上したことによるものです。

連結株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで) (単位 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高	27,581	15,336	1,099	△ 5,117	38,900	793	—	△ 228	564	—	39,464
連結会計年度中の変動額											
新株の発行	2,334	2,330	—	—	4,665	—	—	—	—	—	4,665
剰余金の配当	—	—	△ 1,336	—	△ 1,336	—	—	—	—	—	△ 1,336
役員賞与の支給	—	—	△ 60	—	△ 60	—	—	—	—	—	△ 60
当期純利益	—	—	5,852	—	5,852	—	—	—	—	—	5,852
自己株式の取得	—	—	—	△ 3,251	△ 3,251	—	—	—	—	—	△ 3,251
自己株式の処分	—	—	—	230	200	—	—	—	—	—	200
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△ 310	1	△ 97	△ 407	16	△ 390
連結会計年度中の変動額合計	2,334	2,300	4,455	△ 3,021	6,069	△ 310	1	△ 97	△ 407	16	5,679
平成19年3月31日残高	29,915	17,637	5,555	△ 8,138	44,970	482	1	△ 326	157	16	45,144



貸借対照表

期別		当事業年度 (平成19年3月31日現在)	前事業年度 (平成18年3月31日現在)	期別		当事業年度 (平成19年3月31日現在)	前事業年度 (平成18年3月31日現在)
科目				科目			
【資産の部】				【負債の部】			
流動資産		42,950	52,359	流動負債		15,627	23,574
現金および預金		16,971	27,422	支払手形		2,721	2,639
売掛金		9,975	10,630	買掛金		3,130	3,458
有価証券		—	199	1年内償還予定の転換社債		—	10,000
たな卸資産		3,201	2,905	未払法人税等		173	1,884
ゲームソフト仕掛品		3,527	5,614	賞与引当金		1,431	929
繰延税金資産		2,562	2,519	返品調整引当金		462	349
短期貸付金		2,068	2,297	その他		7,709	4,314
その他		5,926	1,941	固定負債		23,008	27,762
貸倒引当金		△ 1,282	△ 1,171	転換社債		15,000	15,000
固定資産		43,689	43,977	新株予約権付社債		6,635	11,500
有形固定資産		4,889	2,955	退職給付引当金		933	816
無形固定資産		470	305	その他		440	446
投資その他の資産		38,329	40,716	負債合計		38,636	51,336
資産合計		86,639	96,336	【資本の部】			
				資本金		—	27,581
				資本剰余金		—	15,336
				利益剰余金		—	6,708
				その他有価証券評価差額金		—	491
				自己株式		—	△ 5,117
				資本合計		—	45,000
				負債および資本合計		—	96,336
				【純資産の部】			
				株主資本		47,822	—
				資本金		29,915	—
				資本剰余金		17,637	—
				利益剰余金		8,407	—
				自己株式		△ 8,138	—
				評価・換算差額等		181	—
				その他有価証券評価差額金		181	—
				純資産合計		48,003	—
				負債純資産合計		86,639	—

(注)平成18年5月に会社法が施行されたことに伴い、当事業年度は新様式で表記しております。

損益計算書

期別		当事業年度 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)	前事業年度 (平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)
科目			
売上高		55,584	53,925
売上原価		38,941	38,357
売上総利益		16,643	15,568
返品調整引当金繰入額		113	138
差引売上総利益		16,529	15,429
販売費および一般管理費		10,175	9,482
営業利益		6,353	5,947
営業外収益		564	854
営業外費用		784	1,177
経常利益		6,134	5,624
特別利益		104	116
特別損失		663	436
税引前当期純利益		5,575	5,304
法人税、住民税および事業税		159	379
過年度法人税等		—	1,832
法人税等調整額		2,319	△ 2,583
当期純利益		3,096	5,675

学習教材「テレビゲームのひみつ」を
小学校および図書館へ寄贈

当社は、企業市民を目指し、株式会社学習研究社(学研)と協力して、テレビゲームをテーマにした小学生向け学習教材「学研 まんがでよくわかるシリーズ テレビゲームのひみつ」を制作し、全国約24,000の小学校および約2,700の公立図書館に寄贈いたしました。

同シリーズは、子供たちが日ごろ疑問に思っていることや知りたいことを、まんがでわかりやすく説明した書籍で、「総合的な学習の時間」などの教育現場での副教材としても活用されています。

「テレビゲームのひみつ」では、子供たちに人気の高いゲームクリエイターの仕事内容やゲーム制作のプロセスなど、テレビゲームについて分かりやすく解説しており、先生や保護者の方にもご参考になるものと存じます。



株主資本等変動計算書

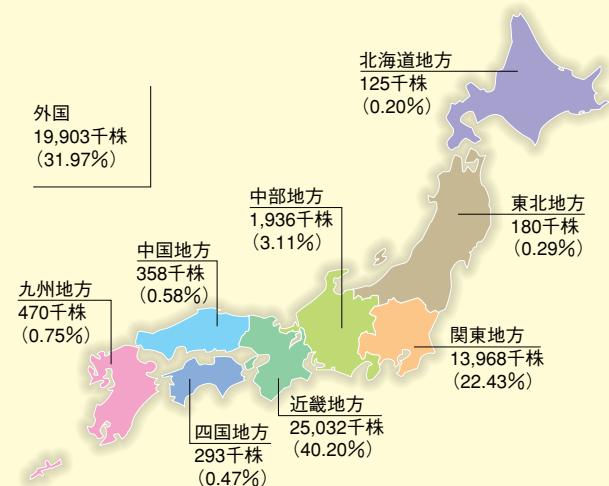
期別	株主資本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計		
平成18年3月31日残高	27,581	15,336	6,708	△ 5,117	44,508	491	45,000
事業年度中の変動額							
新株の発行	2,334	2,330			4,665		4,665
剰余金の配当			△ 1,336		△ 1,336		△ 1,336
役員賞与の支給			△ 60		△ 60		△ 60
当期純利益			3,096		3,096		3,096
自己株式の取得				△ 3,251	△ 3,251		△ 3,251
自己株式の処分		△ 29		230	200		200
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						△ 310	△ 310
事業年度中の変動額合計	2,334	2,300	1,699	△ 3,021	3,313	△ 310	3,002
平成19年3月31日残高	29,915	17,637	8,407	△ 8,138	47,822	181	48,003

株式の状況 (平成19年3月31日現在)

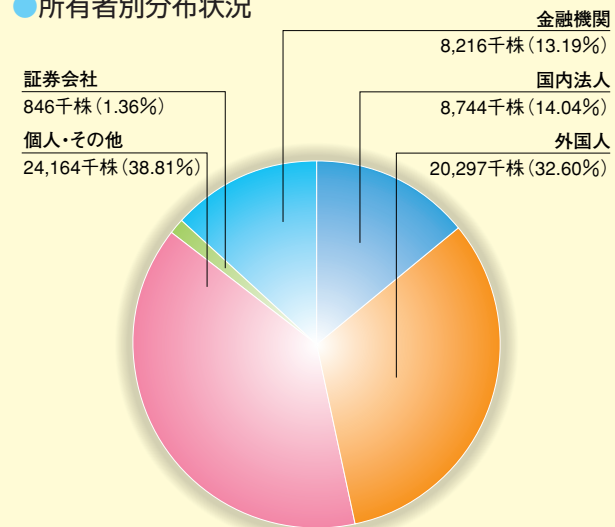
- 発行可能株式総数 150,000,000株
- 発行済株式の総数 62,269,007株
- 株主数 20,373名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数 千株	出資比率 %
有限会社クロスロード	6,771	12.00
辻本憲三	2,745	4.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,024	3.59
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	1,884	3.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,853	3.28
辻本美之	1,669	2.96
辻本春弘	1,546	2.74
辻本良三	1,545	2.74
モルガンスタンレーアドバンティージャナルリミテッド	1,425	2.53
ドイチェンバンクアゲーロントビーアリアンツシュテンツ619	1,357	2.40

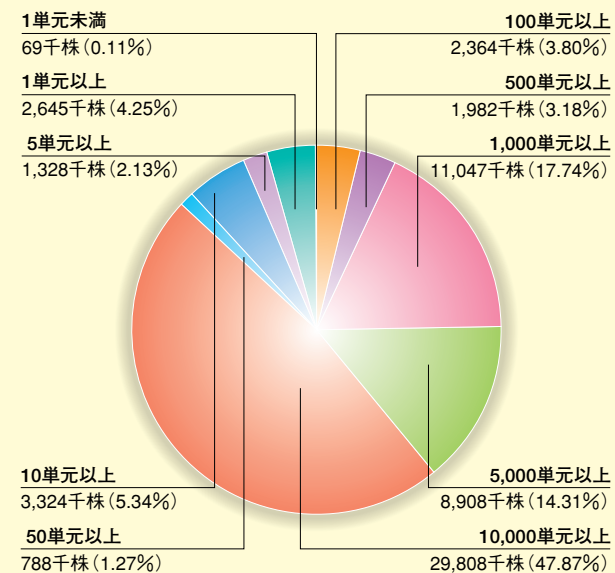
(注) 出資比率については、自己株式数(5,813千株)を控除して算出しております。



所有者別分布状況



所有株数別分布状況



子会社の状況 (平成19年3月31日現在)

会社名	資本金	主な事業内容
カプコン U.S.A., INC. (米国)	159,949千米ドル	持株会社、米国子会社の管理
カプコン・エンタテインメント, INC. (米国)	1,000千米ドル	家庭用ゲームソフトの販売
カプコン・インタラクティブ, INC. (米国)	0千米ドル	携帯電話向けコンテンツの配信
カプコン・インタラクティブ・カナダ, INC. (カナダ)	0千カナダドル	携帯電話向けコンテンツの開発および配信
株式会社カプトロン	1,640百万円	不動産の賃貸および管理
カプコンアジア CO., LTD. (香港)	21,500千香港ドル	家庭用ゲームソフトの販売
カプコン・エンタテインメント・コリア CO., LTD. (韓国)	1,000百万ウォン	家庭用ゲームソフトの販売、オンラインゲームの開発および運営
株式会社フラグシップ	70百万円	ゲームソフトの企画、開発
カプコンチャーム株式会社	300百万円	携帯電話用充電器の販売、レンタル
クローバースタジオ株式会社	90百万円	ゲームソフトの企画、開発
株式会社ダレット	90百万円	オンラインポータルサイトの運営
C E・ヨーロッパ LTD. (英国)	1,000千ポンド	家庭用ゲームソフトの販売
CEG・インタラクティブ・エンタテインメント GmbH (ドイツ)	25千ユーロ	家庭用ゲームソフトの販売

役員の状況 (平成19年7月1日予定)

当社は、平成19年7月1日付で以下のとおり役員の人事異動を行い、新体制により社業の発展に一層の努力をいたす所存でございます。

取締役および監査役

代表取締役会長	辻本 憲三	取締役	堀 紘一
代表取締役社長	辻本 春弘	取締役	保田 博
取締役	初野 純孝	取締役	松尾 眞
取締役	飛澤 宏	監査役(常勤)	山口 省二
取締役	阿部 和彦	監査役(常勤)	平尾 一氏
取締役	小田 民雄	監査役	黒田 守雄
		監査役	中山 好雄

(注) 1. 取締役 堀 紘一、保田 博および松尾 眞の各氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 山口省二、黒田守雄および中山好雄の各氏は、社外監査役であります。



本社ビル

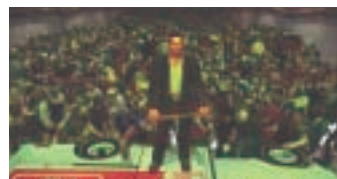


『モンスターハンターポータブル 2nd』が国内初の100万本突破

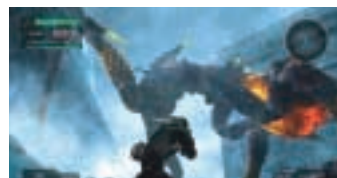
今年の2月22日に発売した「モンスターハンターポータブル 2nd」が、プレイステーション・ポータブル用ソフトとしては、国内で初めて出荷本数が100万本を突破いたしました。同ソフトは、社団法人コンピュータエンターテインメント協会が主催する「日本ゲーム大賞2006」において、今後が期待される作品に贈られる「Future賞」を受賞するなど、発売前からユーザーの高い関心を集めておりましたが、見事期待に応えることができました。



「モンスターハンターポータブル 2nd」
(プレイステーション・ポータブル用)



「デッドライジング」(Xbox360用)



「ロストプラネット」(Xbox360用)

Xbox360向けソフトが連続大ヒット!

Xbox360用ソフト「デッドライジング」および「ロストプラネット」が、欧米市場において好評を博し、ワールドワイドでそれぞれ100万本を超える出荷を達成いたしました。新型ゲーム機向けソフトならではのリアルで迫力ある世界観が高く評価され、国内外で数々の賞を受賞するなど、世界で通用する開発力の高さを改めて示すことができました。

両タイトルの大ヒットにより、今後の海外展開に弾みがついてまいりました。

「ロックマン」が生誕20周年を迎えます!

当社の人気ゲームキャラクター「ロックマン」が、今年の12月17日に生誕20周年を迎えます。

「ロックマン」は、ファミリーコンピュータ向けアクションゲームとして昭和62年に初回作を発売以来、シリーズ累計販売2,700万本を誇る当社人気タイトルのひとつです。

これを記念して、特設サイトの開設やシリーズ最新作の「流星のロックマン」(ニンテンドーDS用)3バージョンを発売(平成18年12月14日発売)するなど、多様なプロモーションを展開しております。



「流星のロックマン
ベガサス」



「流星のロックマン
レオ」



「流星のロックマン
ドラゴン」



「ロックマン」シリーズ20周年記念サイト

<http://www.rockman.jp>



●カプコンIRサイトのご案内 <http://ir.capcom.co.jp>

当社では、株主や投資家の皆様に最新情報をタイムリーに提供することを目的として、ホームページを活用したIR活動にも注力しております。

カプコンIRサイトでは、財務データや株式情報に加え、経営戦略など様々な情報提供を行っております。

当社IRサイトは、情報の充実度や使いやすさにおいて各評価機関より高い評価をいただいております。



最新情報
いま注目すべきIR情報を大きく中央に表示していることに加え、新着情報やプレスリリースなどの最新情報を素早く確認できるシステム(RSS)にも対応しております。

IR資料室
マーケットデータや人気ソフトの販売本数をグラフや画像等でわかりやすく掲載するとともに、決算説明会の模様をパソコン上で閲覧できるだけでなく、動画をポッドキャストにも対応させるなど、豊富な情報を取り揃えております。

個人投資家の皆様へ
当社をより深くご理解いただけるよう「当社の強み」や「市場動向」などをわかりやすくご説明しております。

カプコンIRメール
メールアドレスをご登録いただきますと、プレスリリースや決算資料などの最新情報をメールにてお知らせいたします。

携帯からもIR情報へアクセス
<http://m-ir.jp/c/9697>
当社の業績概況や株式情報が携帯電話から閲覧できるほか、株価の終値や最新のリリース情報も取得できます。QRコード(二次元コード)の読み取りに対応した携帯電話をお持ちの方は右の画像を読み込むと簡単にアクセスできます。
※読み取り方法についてはお手持ちの携帯電話取扱説明書をご覧ください。

「アニュアルレポート 2007」発行
本年度は、経営トップによる中長期成長戦略や配当方針に関する説明に加え、当社の強みである研究開発体制をクリエイターや人気タイトルの開発過程を交えて紹介するなど、株主の皆様が注目するポイントをわかりやすく解説しております。ご希望の方は当社広報・IR室までお問い合わせください。なお、発行は今年8月を予定しております。
株式会社カプコン 広報・IR室
TEL : 06-6920-3623 Email : ir@capcom.co.jp

株主メモ

定 時 株 主 総 会 毎年6月中
基 準 日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当
期 末 配 当 3月31日
中 間 配 当 9月30日

単 元 株 式 数 100株
株 主 名 簿 管 理 人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同 事 務 取 扱 場 所 〒530-0004
(お 問 合 わ せ 先) 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話(通話料無料) 0120-094-777

○株主名簿管理人の事務取扱場所が、移転に伴い平成19年5月7日より変更になりました。

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
野 村 證 券 株 式 会 社 全国本支店

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料)
0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)

ホームページ
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公 告 方 法 電子公告
当社のホームページ(<http://www.capcom.co.jp/>)
に掲載します。
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による
公告をすることができない場合は、日本経済新聞に
掲載します。

上 場 証 券 取 引 所 東京・大阪証券取引所

株式会社 カパコン



環境に配慮し、再生紙と大豆インキを使用しております。